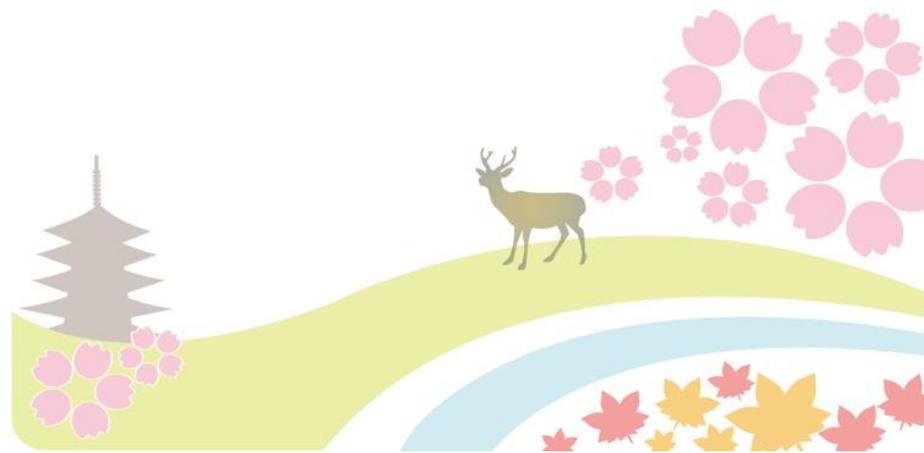


地域公共交通の維持・充実に向けた取組 (奈良モデル)



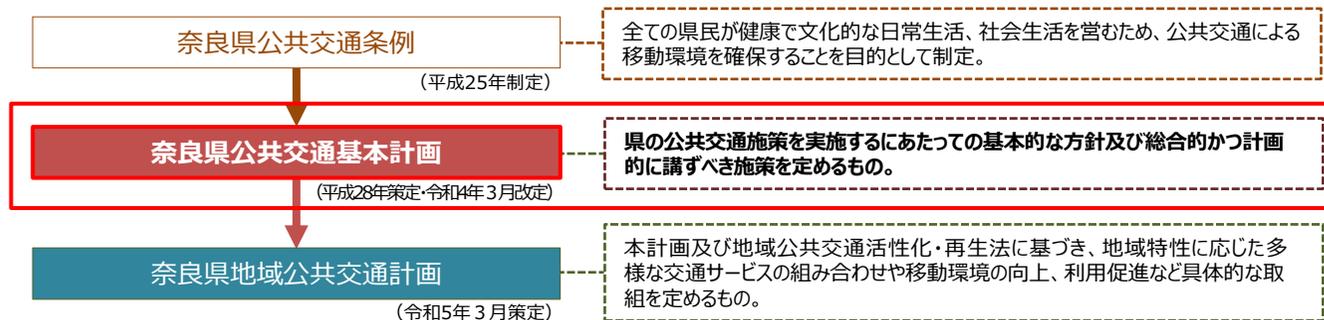
奈良県
県土マネジメント部
リニア推進・地域交通対策課

課長 網蔵孝紀

1. 奈良県公共交通基本計画

奈良県公共交通基本計画

公共交通に関する施策を総合的かつ計画的にするため、「奈良県公共交通基本計画」を平成28年3月に策定しました。県内公共交通の現状や課題、現計画に基づく取組の成果・効果検証、コロナ禍の影響・対応等を踏まえ、次の5年間の公共交通に関する基本の方針を定めるべく、令和4年3月に改定し、取組を進めています。



基本理念及び取組指針

【基本理念】

- 「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ため、県民・来訪者の**移動ニーズを支える県内公共交通とその拠点**を実現する
- **地域がより主体的に**公共交通を維持・充実する取組に**参画**する
- 持続可能な社会・地域づくりに貢献する公共交通を構築する

対象とする公共交通の範囲は、鉄道、路線バス、タクシーに加え、市町村等が主に事業主体となるコミュニティバス・デマンドバス、自家用有償旅客運送や住民同士の助け合いによる運送のほか、施設バスやシェアサイクル等、幅広く捉えることとする。

総合的かつ計画的に推進する施策

本計画の基本理念を実現するため、下記の4つの施策を推進している。

なお、推進施策3及び4については、推進施策1及び2の実現を支える「横軸」として位置付けている。

推進施策1 県内公共交通の維持・充実に向けた取組

- (1) 地域がより主体的に公共交通の維持・充実を図る取組の強化
- (2) 地域の輸送資源や多様な輸送モードの活用



市内フィーダー交通
〔五條市コミュニティバス〕



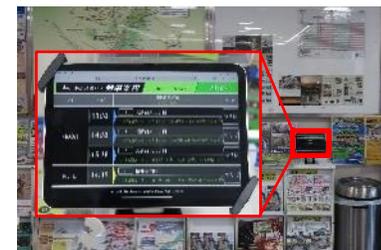
大宇陀南部ボランティア有償バス
〔宇陀市〕

推進施策2 公共交通に関わる空間の質向上

- (1) 地域の拠点としての駅・バス停等の質の向上
- (2) 誰もが使いやすい利用環境の整備



バス停の上屋整備
〔馬見南六丁目〕



案内用タブレット設置
〔道の駅宇陀路大宇陀〕

推進施策3 多様な関係者による連携・協働

- (1) 「奈良モデル」に基づく、市町村・交通事業者・県民等との連携・協働
- (2) 公共交通を担う人材の確保・育成



地域の関係者による協議



市町村担当者向けの
勉強会等の開催

推進施策4 時代の変革に対応した公共交通の構築

- (1) デジタル技術の活用による移動手段の確保や利便性向上
- (2) 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進



三郷町の自動運転車両の実証運行



EVバス

2. 地域の主体的参画による、基幹公共交通ネットワークの確保

> 全体のフレームワーク

- 地域の多様な関係者が参画する「エリア公共交通検討会議」において、“公共交通とまちづくり等の検討プロセス”のもと、地域の公共交通全体の維持・充実について協議し、運営の改善や利用促進を実施

<“公共交通とまちづくり等の検討プロセス”>

STEP1

- 複数の市町村を跨ぐバス路線や市町村連携コミュニティバスについて、路線毎に**必要性や運営の効率性に係る「診断」**を実施。（「バスカルテ」の作成）
- **他の交通モードや利用状況等についても共有。**

STEP2

- **行政、交通事業者、地域づくり団体など多様な関係者が参画。**
- 診断結果を踏まえ、広域バス路線に加え、鉄道、タクシーなど既存の他交通モードや施設バスなど、**地域の輸送資源を総合的に捉え、公共交通全体の維持・充実**についてワークショップ等も活用し協議。

STEP3

- 対象区域、取組の実施主体や役割分担を明らかにした「**公共交通とまちづくりのデッサン**」を作成（毎年度改定）

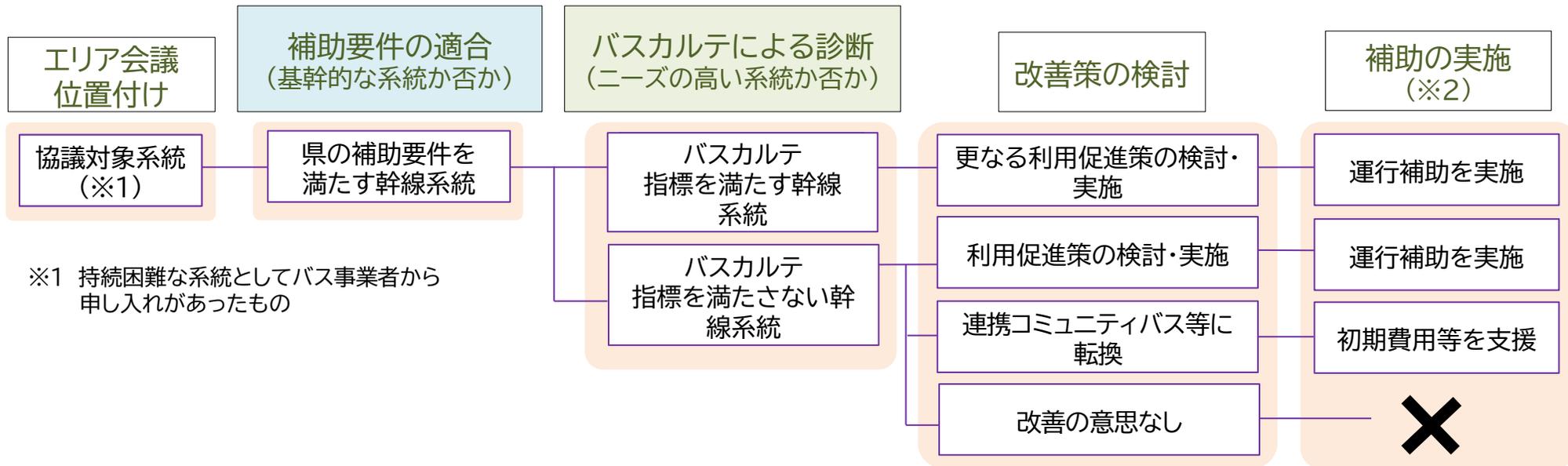
STEP4

- **路線の抜本的な再編や施設整備**など、一定期間を要する特に重要な取組を**3～5年を期間とする「重点取組事項」**として位置付け。

STEP5

- 「**重点取組事項**」やその他「公共交通とまちづくりデッサン」に基づく取組を関係者が連携して実施。
- 県は、「**重点取組事項**」を優先的に支援。

> 全体フレームと予算補助の関係



※1 持続困難な系統としてバス事業者から
申し入れがあったもの

※2 基幹公共交通ネットワーク確保
事業補助金(県単費)による
(当該路線に係る赤字見込み額の1/2)

補助要件

以下の①～③全てを満たす系統

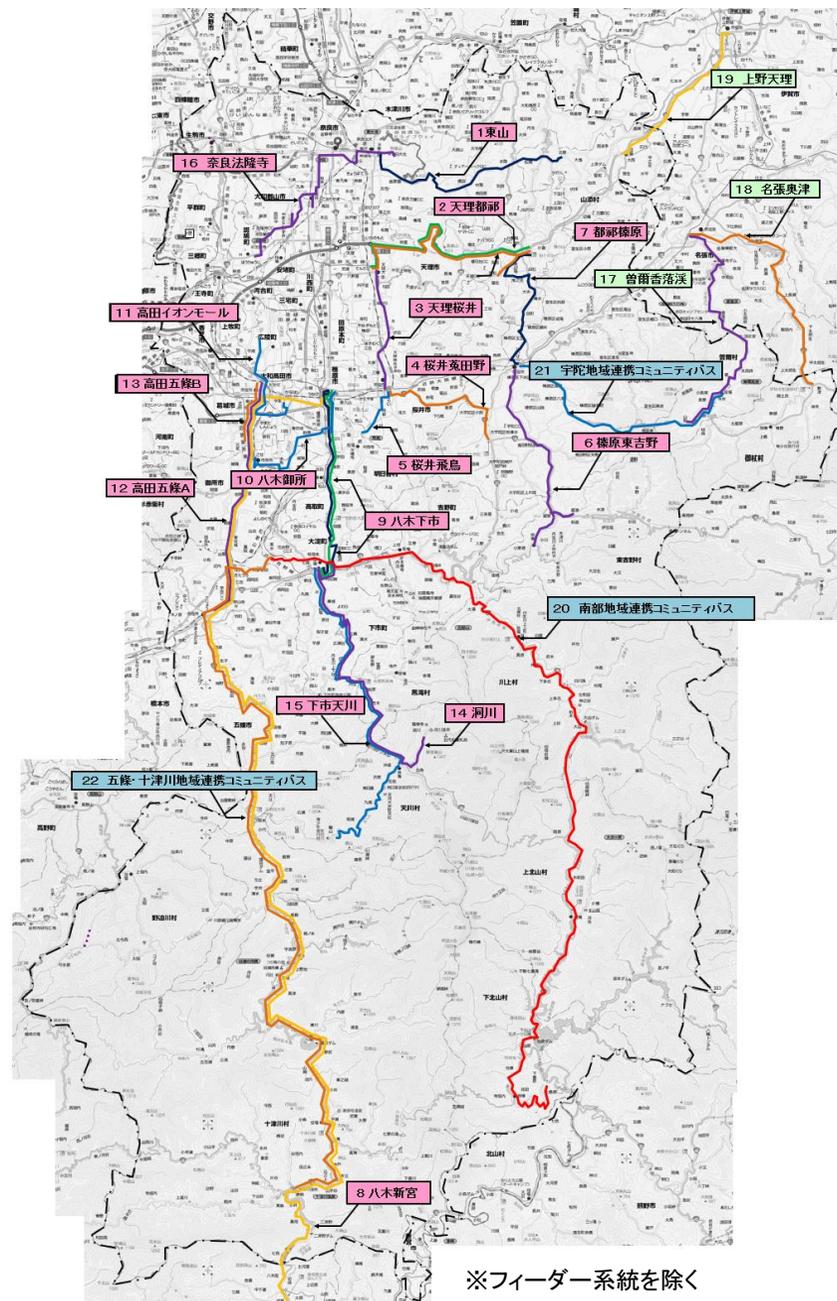
- ①通院、通学、通勤、買い物等の利用に対応して運行
- ②以下の(1)～(4)の全てを満たす地域公共交通の
ネットワークを構成するもの
 - (1)複数市町村にまたがる
 - (2)2以上の市町村が運行するコミュニティバスに接続
 - (3)鉄道駅に接続
 - (4)主要な幹線道路を主に運行
- ③1日あたり計画運行回数3回以上

バスカルテの指標

指標	基準値
1便あたり利用者数	3人以上
平均乗車密度	2人以上
最大乗車人員	10人以上
収支率	交通事業者:40%以上 市町村連携:20%以上
利用者1人あたり行政負担	2,000円以下

(県内の補助対象系統)

運行系統名		運行予定者名
1	東山	奈良交通株式会社
2	天理都祁	〃
3	天理桜井	〃
4	桜井菟田野	〃
5	桜井飛鳥	〃
6	榛原東吉野	〃
7	都祁榛原	〃
8	八木新宮	〃
9	八木下市	〃
10	八木御所	〃
11	高田イオンモール	〃
12	高田五條A	〃
13	高田五條B	〃
14	洞川	〃
15	下市天川	〃
16	奈良法隆寺	〃
17	曾爾香落溪	三重交通株式会社
18	名張奥津	〃
19	上野天理	〃
20	南部地域コミュニティバス	南部地域公共交通活性化協議会
21	宇陀地域コミュニティバス	宇陀地域公共交通活性化協議会
22	五條・十津川地域コミュニティバス	五條・十津川地域公共交通活性化協議会
23	五條市コミュニティバス	五條市
24	かぎろひバス	宇陀市



※フィーダー系統を除く

「公共交通とまちづくりデッサン」の例

・エリア公共交通検討会議において、対象エリアの課題やまちづくりの動向、路線のあり方、目指す方向性などを記載した「公共交通とまちづくりデッサン」を作成

公共交通とまちづくりのデッサン2.0

東部A 天理都祁線・東山線・上野天理線 1/3

路線・地域の概要

- 関係市町村
 - 奈良市・天理市・山添村
- 主な公共交通機関
 - ・奈良交通路線バス[対象路線]:天理都祁線、東山線
 - ・三重交通路線バス[対象路線]:上野天理線
 - ・コミュニティバス:奈良市都祁地域コミュニティバス、天理市いちよう号、山添村東豊地域コミュニティバス、山添水間コミュニティバス
 - ・その他の輸送サービス:やまぞえ福祉タクシー(有償運送事業)、無し(奈良市、天理市)
- 主な利用データ
 - ・天理都祁線:診断指標達成(R3年度)、利用者数は前年比減、行政負担増加傾向
 - ・東山線:診断指標達成(R3年度)、利用者数や行政負担は横ばい傾向
 - ・上野天理線:平均乗車密度、収支率につき指標未達成(R2,3年度)、行政負担も増加傾向

- 関係情報
 - ・対象路線が走る大和高原北部地域では、地域全体を博物館としてPRする「田原やま里博物館」、「さとやま民泊推進事業」、「山添村グリーンツーリズム」等の取組が行われている
 - ・[コミバスとの接続・連携、利用促進策など 現在実施しているもの]
 - 山添水間、奈良都祁線代替バス→奈良交通水間バス停に接続 東豊地域→名張駅に接続
 - ・近隣を走る奈良柳生線(奈良駅→柳生)は、柳生氏の城下町として歴史・文化資産が豊富
 - ・フォレストパークは、年間約4万人の観光客が訪れている
 - ・山添村西豊地区まちづくり基本構想を策定(R4.2月)し、令和4年度に基本計画を策定し、個別の事業を5ヶ年で着手・実行していく予定
 - ・県では奈良市のコミュニティバスにおけるクロスセクター効果の算定を実施
- 令和9年度に目標とすべき状況(主な評価指標)
 - ・対象路線につき、診断指標5項目の達成

路線・地域の概要

本エリアにおける公共交通の位置付けと課題

- 【位置付け】
 - 対象路線バス3路線は、田原地区・都祁地域・山添村住民の買い物、通院等の移動手段となっている
 - 休日も運行の天理都祁線、東山線及び奈良柳生線は、春秋のシーズンを中心に、観光・行楽客利用も一定の利用がみられる
- 【課題】
 - 自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業により運行を確保・維持する必要がある
 - 自家用車を使えない高齢者層を中心に、住民の移動手段確保をどのように確保するか
 - 主要施設への移動に、いかに公共交通を活用してもらうか
 - グリーンツーリズムやさとやま民泊推進事業等の推進に、どのように公共交通を活用するか

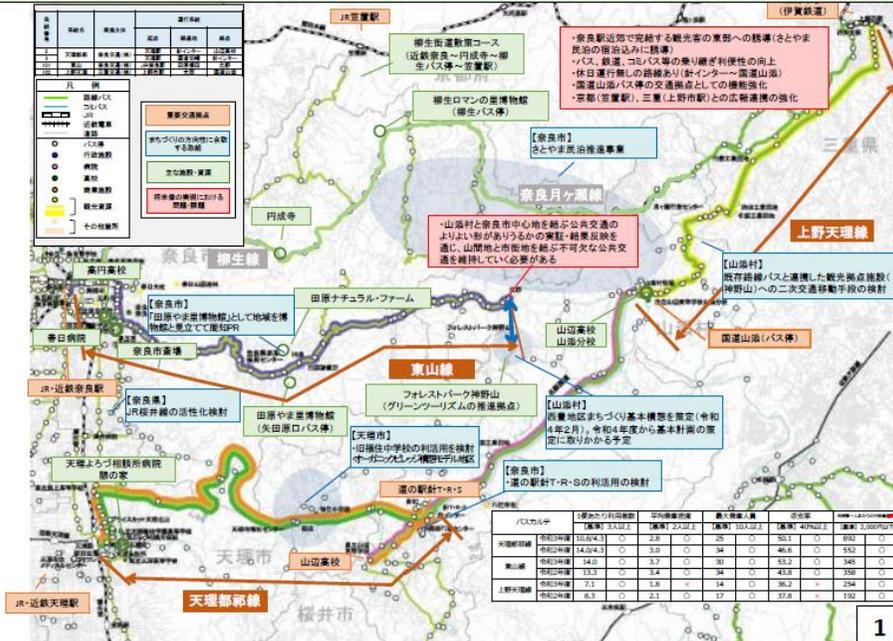
取組の方向性

- 一住民向け
 - 【目標】通院・買い物等、必要な用事を車がなくても便利に
 - 住民のニーズ把握とそのニーズに応じた交通モードの導入
 - 通院・通学者の公共交通利用促進に向けた取組の実施
- 一観光客向け
 - 【目標】公共交通を利用した観光のための取組実施
 - 公共交通の利用に繋がる観光イベントの企画・発信を強化
 - 滞在型観光を視野にいれた公共交通を利用した観光モデルの立案・周知

本エリアにおける公共交通の位置づけと課題

取組の方向性

まちづくりの方向性(イメージ図)



取組などを路線図に記載

診断5指標の状況

> 重点取組事項の例

- ・路線の抜本的な再編や施設整備など、一定期間を要する特に重要な取組を3～5年を期間とする「重点取組事項」として位置付け。
- ・県は、「重点取組事項」を優先的に支援。

重点取組事項の整理

公共交通とまちづくりのデッサン<実施事業一覧>

東部A 天理郡耶麻・東山線・上野天理線 2/3

重点取組事項

住民向けの取組		観光客向けの取組	
取組名	利用ニーズに応じた山間地と市街地を結ぶ公共交通の実証・維持確保	取組名	奈良市東部の地域交通ネットワークの再編
取組内容	・利用ニーズに応じた、奈良市街地方面への山添村民送迎バスの実証と、その結果を踏まえた東山線路線再編の実施 ・天理、伊賀方面など市街地への公共交通維持・確保に向けた取組を検討・実施	取組内容	・持続可能な交通体系を構築するため、スクールバスなどの地域の既存の移動手段の活用も含めて、路線バスから代替交通手段への移行も視野に入れた地域交通ネットワークの再編を行う
実施主体(協力)	山添村、奈良県、奈良交通	実施主体(協力)	奈良市、奈良県
実施効果	利用者数の増加、利便性の向上	実施効果	移動ニーズに応じた地域交通ネットワークの実現
実施期間	R5.4～	実施期間	R5.4～
取組名	地域の実態に即したモビリティマネジメントの実施	取組名	移動ニーズに応じた持続可能な公共交通の確保
取組内容	・公共交通の利用イメージが湧いていない沿線住民に対し、公共交通の存在を認知してもらい、具体的なイメージを明確に持ってもらうためのモビリティマネジメントを、地域の移動実態に即して実施	取組内容	・市民や利用者を対象とした各種調査を実施のうえ、地域公共交通計画を策定し、計画記載事項を実施
実施主体(協力)	奈良市、天理市、山添村、奈良県、交通事業者	実施主体(協力)	天理市、奈良県
実施効果	利用者数の増加	実施効果	移動ニーズに応じた持続可能な公共交通の確保
実施期間	R5.4～	実施期間	R5.4～
取組名	拠点となる施設と連携したインセンティブ施策や施設自体の利活用の実施	取組名	自動継続型金額式ICカード定期券「CI-CA plus」の利用促進
取組内容	・地域の拠点として機能する施設と連携したインセンティブ施策や、施設を活用したイベント等の実施	取組内容	・令和5年9月より販売を開始している自動継続型金額式ICカード定期券「CI-CA plus」の普及のためのPRを実施 ・コミュニティバスに活用する取組を検討・実施
実施主体(協力)	奈良市、天理市、山添村、奈良県、交通事業者	実施主体(協力)	奈良交通
実施効果	利用者数の増加、利便性の向上	実施効果	利用者数の増加
実施期間	R5.4～	実施期間	R5.3～

2

公共交通とまちづくりのデッサン<重点取組事項>

東部A 天理郡耶麻・東山線・上野天理線 3/3

重点取組事項について

○利用ニーズに応じた山間地と市街地を結ぶ公共交通の実証・維持確保

重点取組事項のねらい	山添村と奈良市中心地を結ぶ公共交通のよりよい形があらうかの実証・結果反映を通じ、山間地と市街地を結ぶ不可欠な公共交通をできる限り長く維持する
実施効果	山添村と奈良市中心地を結ぶ公共交通の利用者数の増加
活用する支援制度	公共交通基本計画推進支援事業

	1年目(R5)	2年目(R6)	3年目(R7)～
実施内容	・利用ニーズに応じた、奈良市街地方面への山添村民送迎バスの実証実験(奈良交通東山線のバス運賃補助事業含む)	・実証実験結果を踏まえた、利便性を向上させるような東山線再編(一部便の路線延長・ダイヤ改正・運行形態変更等)の検討 ・再編後の費用負担接分の検討	・利用者への利便性を向上させるような東山線再編(一部便の路線延長・ダイヤ改正・運行形態変更等)の実施
役割分担 (※1実施主体)	<p>奈良県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施や結果分析に関する支援 <p>山添村^{※1}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山添村民送迎バスの運行・使い方具体例提示/周知 ・利用者アンケート調査の実施・結果分析 ・東山線の使い方具体例提示/周知 <p>交通事業者(バス事業者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東山線利用データの整理・分析 ・東山線の使い方具体例提示/周知 <p>山添村、奈良市、天理市、奈良県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用した日帰り観光ゴールデンルートの組成 ・日帰り観光客へのアンケート調査実施・結果分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・東山線再編検討に関する関係者間調整・支援 ・実証実験結果を踏まえた、東山線再編案の検討 ・東山線の使い方具体例提示/周知 <ul style="list-style-type: none"> ・東山線再編による関係者間調整・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・東山線再編による利便性向上の徹底的な周知・使い方具体例提示/周知 ・東山線の地域別体験乗車会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・東山線再編による利便性向上の徹底的な周知・使い方具体例提示/周知 ・東山線の地域別体験乗車会の開催
関係する補助	・公共交通基本計画推進支援事業	・公共交通基本計画推進支援事業	・公共交通基本計画推進支援事業
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・山添村民送迎バスの利用者数 ・東山線の利用者数 	・東山線の利用者数	・東山線の利用者数
アウトカム指標	<ul style="list-style-type: none"> ・東山線の利用者数の増加 ・東山線を利用して山添村内観光に訪れた人数の把握・明示化 		

3

3. 基幹公共交通ネットワーク確保事業以外の主な支援

補助金名	補助制度	補助対象事業者	補助対象事業
公共交通基本計画推進支援事業	①運行効率化調査検討事業	市町村又は協議会	地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画に関する調査・検討
	②利用環境整備事業		地域公共交通計画又は地域公共交通利便増進実施計画に基づく利用環境整備事業
外国人観光客受入環境(交通サービス)整備促進事業補助金	外国人観光客受入環境整備促進事業	一般乗用旅客自動車運送事業者及びこの者に車両を貸与する者	ユニバーサルデザインタクシー及びジャンボタクシーの導入
公共交通環境負荷低減促進事業補助金	公共交通環境負荷低減促進事業	一般乗合旅客自動車運送事業者	次世代自動車の導入及び電気自動車用充電設備等の導入



➤ 公共交通基本計画推進支援事業

・市町村又は協議会が実施する**運行効率化調査検討(調査検討、実証運行)**や**利用環境整備**に要する経費を支援

① 運行効率化調査検討事業
 以下のいずれかに該当する調査・検討事業に対して支援

<対象事業>

1. 地域公共交通計画に関する調査検討
2. 地域公共交通利便増進実施計画に関する調査検討
3. 地域公共交通利便増進実施計画に基づく事業の事業評価に関する調査検討

※実証運行含む

② 利用環境整備事業
 地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画に基づく利用環境整備事業に対して支援

<対象事業>

1. 車両購入・改造
2. ICカードシステムの整備
3. バス等ロケーションシステムの整備
4. バス・鉄軌道等の交通機関の利用環境整備
5. デマンド交通システムの導入
6. 企画乗車船券の発行等
7. 利用促進

①運行効率化調査検討事業の活用例

①調査検討

実施年度	実施団体	検討内容
令和2年度	明日香村	<ul style="list-style-type: none"> バスの乗降調査等による分析や公共交通に係る村等所有データの分析 高齢者等に対応した外出サポート等の充実についての調査検討
	田原本町	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査による移動手段や公共交通に関する利用意向などの把握
令和3年度	大和高田市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査による地域住民等移動のニーズの把握 大和高田市地域公共交通計画の策定に向けた調査・検討
	葛城市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケート調査による移動実態や公共交通の問題点等の分析 利用者アンケート調査による利用者実態等の分析
令和4年度	大淀町	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケート調査による町民の要望及びニーズの把握 大淀町地域公共交通計画の策定に向けた調査・検討
	上北山村	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケート調査による移動実態の把握と活動機会の分析 コミュニティバスの再編計画の検討

②実証運行

実施年度	実施団体	事業内容
令和2年度	宇陀市	<ul style="list-style-type: none"> 大宇陀・菟田野地域における病院等へのアクセスを向上し、住民の利便性を向上させるための実証運行
	天理市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 天理駅～山田町を結ぶ市内交通の実証運行
令和3年度	五條市	<ul style="list-style-type: none"> 牧野、北宇智、二見の3コースでのミーティングポイント型デマンド交通の実証運行
	宇陀市	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の実証運行を継続
令和4年度	生駒市	<ul style="list-style-type: none"> 鹿ノ台地区におけるコミュニティバスの実証運行
	明日香村	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥キトラ線の見直し及び村内の交通サービスレベルが低い地域へのデマンド交通導入

②利用環境整備事業の活用例

実施年度	実施団体	事業内容
令和2年度	宇陀市	・ デマンドタクシーの経路構築システムの導入
	御所市	・ JR吉野口駅への多機能トイレの整備
	広陵町	・ コミュニティバスへのバスロケーションシステムの導入及び公共施設におけるバス運行情報表示装置の設置
令和3年度	明日香村	・ 路線バス停留所への上屋整備
	上牧町	・ 路線バス停留所へのベンチ設置
	広陵町	・ コミュニティバスの路線変更に伴うバス停の整備
令和4年度	香芝市	・ コミュニティバス停留所における標柱改修、縁石切り下げ、視線誘導鉄設置及び路面標示設置工事
	川上村	・ 川上村デマンド乗合タクシー「ニコニコ号」の新規車両購入

【令和4年度】

香芝市の事例
(バス停留所の
整備)



新ルート・ダイヤに
対応した形に改修

川上村の事例
(新規車両の
購入)



ニコニコ号の利
用対象地域拡大
に伴う利用回数
の増加に対応

4. その他、最近における取組(デジタル技術の活用による公共交通サービスの維持・充実)

デジタル技術を活用した取組を進めています

- ・AIデマンド交通や、運転手不足に対応する自動運転バス等、デジタル技術や新たな移動手段を活用した新しい公共交通サービスについて、県内における導入・展開を促進しています。
- ・自動運転の実証実験は、昨年10月に五條市で実施しており、本年2月には三郷町、明日香村にて実施する予定です。この実証実験で得られた課題等を踏まえ、今後、早期の実装を目指し取組を加速させていきたいと考えています。



▲自動運転車両 (バスタイプ)
(三郷町、明日香村)



▲自動運転車両 (カートタイプ)
(五條市)

ご清聴、ありがとうございました